

2022年4月～2023年3月までの事業概要に基づいた事業報告

【1】診療及び保健予防事業については全病院、診療所において実施しており、入院施設をもたない診療所は法人のネットワークを活用して入院先を確保し、入院治療を行った。4病院で協会けんぽの生活習慣病予防健診の受託医療機関であり、労働安全衛生法に基づく雇用者健診等を実施している。詳細は下記のとおりである。

事業分類	項目 / 年度		2022年度
医療介護活動1	外来	患者件数	424,592
		延患者数	579,527
		1日患者数	2,239
	在宅	訪問診療	31,917
		管理患者数	1,723
		在宅時医学総合管理	2,310
	入院	患者件数	18,263
		延患者数	236,745
		1日患者数	648
医療介護活動2 *再掲	透析	外来	14,432
		入院	3,546
	手術	全件数(うち全麻件数)	3,579(1,913)
		外科	1,163(879)
		整形外科	1,262(768)
		産科	139(1)
		婦人科	118(76)
		耳鼻咽喉科	25(17)
		眼科	419(11)
		皮膚科	6(0)
		内科	359(140)
		泌尿器科	88(21)
		その他検査等	0
	病理解剖検査数	8	
	分娩	分娩件数	292
	労災	外来患者数	8,637
		入院患者数	277
医療介護活動3	特診	整形外科	1院所/36人
		心臓	6院所/143人
		眼科	2院所/103人
		甲状腺	5院所/266人
		その他	3院所/47人(胃Fs等)
	健診	成人病健診/特定健診	15,994
		母親教室	0回/0人
		安産教室	0回/0人
		被爆者健診	48
		乳児検診	713
		企業健診	12,751
		政府管掌健康保険健診	7,379
		学校健診	2,530
		学校健診(側わん)	740
		学校健診(耳鼻科)	528

【2】生活困難者のための、無料又は低額な料金で診療等を行う事業については、全ての病院・診療所で行なった。法人全体では、生活保護と無料・低額診療の患者の合計が総患者数の16.7%である。詳細は下記のとおりである。

院 所	2022年度						
	(2022年4月 ~ 2023年3月)			再掲件数			
	件数	日数	減免金額	新規	就援		
1 中央病院	入院	234	5,124	20,284,743	107	4	
	外来	466	3,967	19,919,589	93	37	
	小計	574	9,091	40,204,332	200	37	
10条クリニック		96	850	1,783,740	27	15	
2 札幌病院	入院	92	3,252	9,732,327	49	15	
	外来	870	6,421	13,840,037	330	416	
	小計	910	9,673	23,572,364	379	419	
3 西区病院	入院	55	5,986	13,822,990	30	0	
	外来	72	371	1,067,720	24	12	
	小計	122	6,357	14,890,710	54	12	
ひだまりクリニック		73	546	1,197,700	20	14	
4 苫小牧病院	入院	25	1,019	2,856,849	12	0	
	外来	242	1,853	4,762,930	28	24	
	小計	248	2,872	7,619,779	40	24	
5 ぽぷらクリニック		61	369	908,330	18	6	
6 札幌クリニック		14	116	439,710	2	1	
7 月寒ファミリークリニック		12	51	71,490	4	5	
8 平和通クリニック		36	258	974,990	9	5	
9 もみじ台内科		18	158	659,920	8	0	
10 みなみ診療所		17	190	272,480	1	0	
11 当別診療所		13	110	623,290	2	0	
12 小樽診療所		51	465	1,465,750	6	9	
13 余市診療所		23	218	373,240	0	9	
14 黒松内ブナの森診療	入院	26	611	971,554	1	0	
	外来	80	1,115	1,706,820	12	0	
	小計	82	1,726	2,678,374	13	0	
15 室蘭診療所		26	196	512,320	9	0	
16 厚賀診療所		32	448	807,720	3	0	
17 浦河診療所		86	930	1,935,020	19	27	
19 上砂川診療所		44	451	1,700,890	5	0	
20 芦別診療所		22	203	836,600	1	0	
21 老健柏ヶ丘		介護	3	266	662,872	2	0
22 西区介護医療院		介護	2	269	637,706	2	0
合 計	入院	432	15,992	47,668,463	199	19	
	外来	2,354	19,286	55,860,286	621	580	
	介護	5	535	1,300,578	4	0	
	総計	2,565	35,813	104,829,327	824	583	

* 統計件数は一人が入院・外来と両方で利用された場合は1件とする

2022年度 無料低額診療 統計

1. 保険	2022年度	
	件数	構成比
国保	1,076	42%
短期保険証	0	0%
資格証明証	0	0%
社保本人	423	16%
社保家族	385	15%
後期高齢者	669	26%
無保険	7	0%
その他	0	0%
介護保険	5	0%
合計	2,565	100%

2. 適用区分	2022年度	
	件数	構成比
1.無料診療	7	0%
2.一部負担金の全額	2,500	97%
3.一部負担金の一部	58	2%
合計	2,565	100%

3. 申請理由	2022年度	
	件数	構成比
1.低所得	1,830	71%
2.失業・倒産	8	0%
3.ホームレス	0	0%
4.病弱	3	0%
5.DV被害者	1	0%
6.外国人	12	0%
7.人身取引被	0	0%
8.就学援助世	562	22%
9.その他	149	6%
合計	2,565	100%

4. 新規利用者数	2022年度	
	件数	
	824	

5. 性別	2022年度	
	件数	構成比
男性	1,128	44%
女性	1,437	56%
計	2,565	100%

6. 年代	2022年度	
	件数	構成比
00代	115	4%
10代	145	6%
20代	65	3%
30代	195	8%
40代	346	13%
50代	338	13%
60代	434	17%
70代	542	21%
80代以上	385	15%
計	2,565	100%

7. 世帯	2022年度	
	件数	構成比
1人世帯	977	38%
2人世帯	659	26%
3人世帯	378	15%
4人世帯	285	11%
5人以上世帯	266	10%
計	2,565	100%

【3】 第一種助産施設の運営については、札幌市内 4 箇所の病院の一つとして、経済的困難が理由で出産費用を準備できない方の分娩を取り扱った。入院施設のない市町村からも受け入れを行った。2022 年度は 292 件を取り扱った。同病院は小児科の入院施設も有しており、疾病や障害のある新生児の一時対応を行い、周産期医療の一端を担っている。

【4】 救急医療については、中央病院が 2 次救急指定病院に参加し、2022 年度 5,693 台の救急車を受け入れた。札幌病院は救急医療体制における小児科に関わる輪番制に参加する医療機関として継続している。

【5】 休日・夜間等の医療の供給については、4 病院 8 診療所が夜間休日当番病院の輪番制に参加し、休日や夜間の医療供給を行った。また、2 病院・13 診療所において夜間診療を行い、日中の通院が困難な方の受診機会を確保した。

- 【6】災害医療については、中央病院が丘珠空港事故救急対応病院、札幌市の災害時基幹病院となっている。
- 【7】へき地医療については、厚賀診療所が引き続き北海道のへき地診療所に指定されている他、北海道緊急臨時的医師派遣事業に参加し、平取町国民健康保険病院へ医師を派遣した。
- 【8】難病者に対する継続的な医療については、財団法人北海道難病連が行なっている北海道からの委託事業「難病医療・福祉相談会」に継続的に医師を派遣している。
- 【9】卒後臨床研修指定病院の取り組みについては、1997年より臨床研修病院の指定を受けており、2022年度は13名の初期研修医の受け入れを行った。中央病院が基幹型となり、札幌病院・西区病院・苫小牧病院など12病院で協力型、診療所など21施設が協力施設となっており、北海道における医師養成の一翼を担っている。
- 【10】介護及び介護予防事業として老人保健施設柏ヶ丘を運営しており、2022年度の入所者数は延べ25,401人、短期入所の入所者数は延べ1,363人。病院での入院治療と在宅療養を橋渡しし、切れ目のない一体的なサービスを提供した。認知症対応型通所介護と通所リハビリテーションの2022年度延べ利用者は、それぞれ1,807人、10,263人である。当法人の老人保健施設では、社会福祉法に基づく生計困難者に対して、無料または低額な費用で介護老人保健施設を利用させる事業を行なっている。また、低所得者でも入所できるよう、保険の効かない利用料の部分を低く設定している。2022年度は生活保護受給者と無料・低額診療の利用者を合わせると、入所者の16.3%である。
- また、医療の必要とする要介護者の長期療養・生活施設として2020年10月より西区病院の1病棟を転換した介護医療院には、延べ12,588人を受け入れた。
- 【11】病後児デイサービス事業については札幌病院に附設して札幌市の子育て支援事業である病後児デイサービス事業を勤医協菊水こどもデイサービスセンターで運営している。2022年度は延べ266人の児童が利用した。
- 【12】衛生検査所の設置については、病理検査を扱っており、手術中の迅速病理診断も行い臨床機能の一部となっている。病理科の医師と研修医が合同で臨床病理カンファレンスを行い、臨床研修病院の機能を補完している。
- 【13】健康予防に関する知識の普及、啓蒙活動については、すべての病院・診療所で地域住民を対象とした無料の健康相談会を開催し、健康教育や保健予防の知識の普及、医療相談などを行った。2022年度は147回実施し、1,722人が参加した。内容は病気の予防、治療法、医療制度の理解の促進などである。講師は、医師、看護師、リハビリ技士、栄養士などの医療技術者やソーシャルワーカーが務めた。
- 【14】医療・福祉に関する調査研究については、日常の診療で得られた知見や独自の調査活動の成果をまとめ学会や研究会などで発表を行った。大学病院や医学部での先端研究と異なり、患者の生活や労働と疾病の関係、生活の質（QOL）の向上のためのケアなどを研究の対象としている。勤医協医学雑誌や、勤医協看護雑誌も発行し、研究活動の成果を広く普及すると共に後継者の教育に活用した。研究にあたっては、患者の人権を尊重し、医療・生命の倫理を重視している。